



# たんぽぽ通信

武蔵村山病院 病児・病後児保育室「たんぽぽ」



平成 30 年 9 月

## はじめに

「たんぽぽ通信」は、病児・病後児保育室「たんぽぽ」より、市内の教育・保育施設へ向けて情報を発信していくお便りです。皆様のお役に立つ情報を提供していきます。

## 夏にも流行る「RS ウイルス」

今年は6月に大きな台風が来た後、例年よりかなり早く梅雨が明けて7月、8月と猛暑が続きました。気管支の弱いお子さんは、台風が近づくと体調を崩されたのではないのでしょうか。加えて、例年秋から冬にかけて流行するRSウイルスが、今年は7月～8月にかけても流行しました。武蔵村山病院の小児科外来、小児科病棟もRSウイルスのお子さんや気管支の弱いお子さんが多く見受けられました。

## 春から夏に多かった利用者の症状は？

病児・病後児保育室「たんぽぽ」の4月～8月の症状別の利用状況は①急性上気道炎②胃腸炎③気管支炎の順で多く、0歳児、1歳児のお子さんの利用が多く見受けられました。(表1参照)

## これから流行する感染症は？

9月は新学期も始まり、夏の疲れが出る頃です。十分な睡眠と栄養をとり、体調を整えていきましょう。そして、暑さが落ち着く頃から流行するのがインフルエンザです。

1歳を過ぎたらかかりつけの医師に相談し、インフルエンザの予防接種を受けましょう。



表1 【平成30年度4月～8月 病児・病後児保育室「たんぽぽ」症状・感染症】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
病名 (症状)	①急性上気道炎	→											
	②感染性胃腸炎		→				→						
	③気管支炎		→										
	発熱・鼻水・咳	→											
	溶連菌		→										
	ヘルパンギーナ			→									
	RSウイルス			→									
	喘息様気管支炎			→									
	水痘			→									
	手足口病			→									
	インフルエンザA・B型										→		

→ H30年度実績    → H29年度実績

## 《平成30年度4月～8月まとめ》

『昨年に比べ今年の夏は、例年7月～8月に流行する手足口病、ヘルパンギーナが少ない年でした。

昨年秋から冬にかけて多かった胃腸炎は、今年は春先から流行し始めました。その年によって流行する病気も、時期も少しずつ違いますね。

手洗い、うがい等をしっかり行い、感染予防に努めましょう。』

## ♪ 人気のおもちゃ“ボールころがし” ♪

0歳～1歳児に人気のおもちゃです。子どもたちは自分のお気に入りのおもちゃを見つけ自由に遊んで過ごします。年齢、性別に合わせた様々なおもちゃを用意しております(使用後は、除菌クロスで拭きあげて清潔を保っています)。

ここからボールを入れると下までコロコロ転がるよ♪



《ご利用方法》 武蔵村山病院 または 武蔵村山市役所ホームページをご覧ください。

《お問い合わせ》 武蔵村山病院 3C(小児科)病棟 042-566-3367 (日～土 8:00～18:00)